



個人データ保護 法に基づく情報

資料番号	P22-FR13
発行日	11.10.2022
Revizyon No	00
改定日	-
ページ番号	1/2

個人データ保護法に基づく情報

個人データ保護法の範囲内で、当社はデータ管理者の肩書きを持ち、この肩書きで要求される義務を果たすために必要なコンプライアンス作業を実施します。

識別された、または識別可能な自然人に関する情報はすべて個人データと見なされ、お客様の健康文書、犯罪歴、求人応募フォームで指定された情報と紹介文、電子メールのやり取り、電話の会話、メッセージと通信の内容、車両追跡システムの記録、お客様の声と画像の録音、職員出勤管理システムの指紋網膜などの記録、人事ファイル文書はお客様の個人データの例です。

これに関連して、お客様が送信または当社が取得したお客様の個人データは、関連する法律の枠組みの中で保持され、お客様が明示的に同意した枠組みの中で処理されます。繰り返しになりますが、当社の利害関係者、ソリューションパートナー、および商業関係のある第三者への個人データの国内外への転送については、処理の目的に従って、お客様の明示的な同意が考慮されます。

お客様の個人データは、労働条件を決定および改善し、関連する法律の範囲内で雇用主として当社に課せられた義務を履行し、統計情報を収集、編集、アーカイブし、労働生活において必要な操作を実行する目的で当社によって使用される場合があります。

この文脈において、お客様は、個人データ保護法第 11 条の範囲内で、データ管理者である当社に連絡することにより、いつでも以下の権利を行使することができます。

第 11 条

- a) 個人データが処理されているかどうかを知り、
- b) 個人データが処理されている場合、情報を要求し、
- c) 個人データを処理する目的と、それらが意図された目的のために使用されているかどうかを知り、
- d) 個人データが転送される国内外の第三者を知り、
- e) 個人データが不完全または誤って処理された場合、個人データの訂正を要求し、
- f) 第 7 条に定める条件の枠組み内での個人データの削除または破棄の要求し、
- g) (d) および (e) 項に従って行われた取引は、個人データが転送される第三者に通知されることを要求し、
- h) 自動システムのみを介して処理されたデータを分析することにより、人を害する結果の出現に反対し、
- i) 個人データの違法な処理による損害の場合、損害賠償を要求する。



個人データ保護 法に基づく情報

資料番号	P22-FR13
発行日	11.10.2022
Revizyon No	00
改定日	-
ページ番号	2/2

当社または当社と連絡を取っている人物に属する個人データの処理に関して、法律に従ってお客様の個人データを処理する際に示すのと同じ努力と機密性を示すことを要請します。そうでない場合、法律に起因する行政罰金および刑事責任の対象となる可能性があることを通知します。